

## 第23回札幌市自立支援協議会概要

### 1 日時

平成27年3月25日(水) 18時00分～19時55分

### 2 場所

札幌市役所本庁舎12階1～3号会議室

### 3 出席者

- ・ 石崎 剛 (厚別区第2地域包括支援センター長、厚別区地域部会)
- ・ 今田 雅子 (障がい者によるまちづくりサポーター 代表)
- ・ 岡本 直樹 (全国重度障害者相談支援協会、白石区地域部会)
- ・ 北川 聡子 ((福)麦の子会 総合施設長、子ども部会)
- ・ 栗虫 宏明 ((有)拓真ワークス 取締役事業部長、清田区地域部会)
- ・ 黒田 澄雄 ((特非)ゆいまーる 理事長、西区地域部会)
- ・ 小谷 晴子 (札幌アシストセンターマザー理事長、東区地域部会)
- ・ 重泉 敏聖 (就業・生活応援プラザ とねっと センター長、就労支援推進部会)
- ・ 妻倉 ゆかり (あかり家 管理者、中央区地域部会)
- ・ 中村 直人 (障害者支援施設第2よろこびの家 管理者、豊平区地域部会)
- ・ 永井 順子 (北星学園大学 社会福祉学部 准教授)
- ・ 根本 淑恵 (ほっと相談センター 相談支援業務責任者、南区地域部会)
- ・ 橋本 泰宏 ((福)愛敬園 北愛館 主任、手稲区地域部会)
- ・ 福吉 綾子 (札幌市障がい者あんしん相談 専任相談員)
- ・ 森 祥子 (五稜会病院 医療相談室主任)
- ・ 和田 文明 (サポートセンターれら 所長、北区地域部会)
- ・ 山本 彩 (札幌市自閉症・発達障害支援センター 所長)
- ・ 山田 幸広 ((福)北翔会 相談支援専門員、杉田委員代理)

### 4 欠席委員

- ・ 杉田 誠 (相談室こころ ていね 管理者、相談支援部会)

### 5 議事概要

別紙のとおり

### 6 傍聴者

39名

## <議事概要>

### 1 報告事項

会長選任前のため、進行は、前期で副会長だった岡本委員が行う。

#### (1) まちの課題整理プロジェクトチームの活動報告及び各課題の進捗報告

障がい福祉課小野寺職員職員、小谷委員、北川委員、妻倉委員から配布資料に基づき説明。

##### ○ 事務局（小野寺職員職員）

今年度は課題整理のスピードアップにも取り組んだ。構成員を増やし、同じ内容の課題を分類した。課題の整理状況は年間活動報告書2ページ別表のとおりだが、重複障がいに関しては、プロジェクトを立ち上げて解決に向けた検討を始めている。具体的には10ページ下の「課題解決に向けた方向性」のとおり。また、移動に関する課題は、通勤や通所についてのご意見が多くあるが、課題が複雑多岐にわたるので、大学等での研究をお願いできないかと考えている。来年度は、これまで整理した課題の追跡調査も行っていきたい。

##### ● 小谷委員

前年度の全体会で、ヘルパーの技術向上に向けた研修開催の依頼があった。東区は、自立支援ネットワークとつながりを持ちながら活動していることもあり、一緒に検討してきた。まず、介助者の方に4回ほど集まってもらい内容を検討し、9月にシンポジウムを開催。3つの提言がなされた。3月には実技研修を開催。札幌市とも協力して、今後も継続して技術向上のための研修を開催したい。

##### ● 北川委員

教育と福祉の連携に係る検討会議を担当。昨年は、学内支援と通学保障の提案があったが、その後医療についての課題も追加し、2月に公開フォーラムを開催した。まだスタートしたばかりなので、今後も各区の地域部会とも連携し取り組んでいくこととし、さらにインクルーシブ教育についても取り組んでいく予定。

##### ● 妻倉委員

住まいに関する課題について、今年度どのように進めるかを考えた。他の地域部会でも住まいについての取組をされているところがあったため、一度集まり、

情報共有から始めた。各地域部会には今後とも協力をお願いしたい。活動の詳しい内容は年間活動報告書の9ページとなっている。

○ 事務局（小野寺職員）

取り組みの方法としては、25年度は課題を一つずつ整理していったが、26年度は課題整理のスピードアップを図った。これまでの自立支援協議会における課題整理の取組状況は報告書の107ページ以降をご覧ください。

● 永井委員

重複障がいとは有期プロジェクトとなっているが、そのスパンはどうなっているのか。また、元気さ〜ちについて教えてほしい。さらに、教育・福祉・医療の連携におけるインクルーシブ教育とはどういうことをやるのか。

○ 事務局（小野寺職員）

重複障がいプロジェクトは、26年度末を目途にしたいと考えていたが、課題が多いため、引き続き行っていきたい。

● 妻倉委員

元気さ〜ちは、札幌市内の障害福祉サービス事業所の空き情報がインターネット上で見られるシステムになっている。

● 北川委員

公開フォーラムのアンケートで、連携の課題の他に、インクルーシブ教育を考えるべきという意見も数多く出た。課題1と2はかぶらない。インクルーシブ教育について取り上げていきたいが、予算はどうなっているのか。

○ 事務局（小野寺職員）

地域部会と本庁でそれぞれ協議会に係る予算を持っているので、引き続き確保していきたい。

● 岡本委員

元気さ〜ちについて、なかなか活用されていないので、活用に向かうようにしたいという意見が中央区で出ている。

(2) 各部会の部会運営で工夫していることや困っていることの見解交換

各部会の活動内容や部会運営で工夫していること等を配布資料に基づき、各部会

長から報告あり。

● 岡本委員

今回は工夫や困りごとを中心に報告をお願いしたい。大きくは「部会の周知、参加」と「課題抽出の課題」、「予算の課題」の3つかと思うが。

● 重泉委員

参加というのは、何に対しての参加を指しているのか。会議や研修の参加率なのか、運営者側の参加者なのか。

● 橋本委員

どちらも課題である。部会の開催が夜に偏るので、集まりにくい方はいる。手稲区には学校が4校あり参加してもらっているが、事業所の参加が少ない。「知らなかった」という声も聞くので、発信の力不足かとも考えている。

● 妻倉委員

中央区の場合、定例会は事業所、企業、行政、学校などが参加。多いときは60名くらい。内容は講演にプラスして、守秘義務のルールがある困りごとでも話せる相談会を実施。各回の参加者数は報告書の112ページに記載している。また、事務局会議はやりたい人に立候補してもらっており、10名で集まりやすくちょうど良い参加者や体制になっている。

● 重泉委員

少ないというのは、徒労感がある。就労支援推進部会が相談支援部会と合同で開催した時には、南区、西区の参加者が少なかった。自分たちの区の事業所の状況によっても違うのではないか。増えているのは、就労系や児童デイサービスの事業所。どういう人が集まっているかによるので、めげる必要はない。管理者がどのくらい大事に思っているか、全体が見える仕組みをつくるべき。根本的な事業所数などの把握も必要だと思う。また、各事業所の管理者へ協議会の周知を、札幌市として同時に行うべきではないか。

● 岡本委員

課題抽出の課題についてはどうか。

● 和田委員

課題を何でもかんでもまちの課題整理プロジェクトにあげればよいわけでない。

まちの課題整理プロジェクトにあげている数が、地域部会として課題抽出の成績となるのがおかしいような気がする。陰ではやっている。

● 重泉委員

就労部会は0点である。

● 岡本委員

成績というのはおかしい。

● 根本委員

南区は事例検討で課題を考えて書面化しているが、今後どうシステム化するかが課題。0点は0点だが、他の区ではどのような仕組みにしているかを教えていただくために、各部会に行きたいのでお願いしたい。

● 岡本委員

東区が進んでいると思うので。

● 小谷委員

東区は部会全体で課題を上げているのではなく、相談室や事業所から課題をすぐ上げている。その課題を事務局会議で検討している。また、区だけで解決できる内容でない場合は、まちの課題整理プロジェクトに上げている。重要度が高いもの、全市でやるものを運営会議に上げた。上げっぱなしにしないで、人材育成にも取り組んでみた。

● 岡本委員

10区の代表者が集まる、地域部会連絡会の開催もあると思うので、そこでも話し合いをしてみるとよいのではないか。

○ 事務局（小野寺職員）

障害福祉サービスの事業所指定を札幌市で行っている関係で、一般には公開していないが、各事業所のメールアドレスを把握している。各事業所へ地域部会の開催に関するメール発信の依頼をいただければ、障がい福祉課から発信可能。

また、ワン・オールホームページ (<http://one-all.net/>) に協議会カレンダーがあり、ワン・オールで把握している協議会の予定が確認できる。

(3) 「さっぽろ障がい者プラン」への提案（平成26年9月30日）の結果について

○ 事務局（小野寺職員）

報告書の 83 ページから 106 ページに提案とその結果を掲載している。一例をご紹介しますと、85 ページに「障害児利用支援援助」について、94 ページに「自立支援協議会」、101 ページ以降に「教育・育成の表題の変更」、「早期療育の充実」、「児童に関する記載を追加」等がある。今後も、さっぽろ障がい者プランへの提案を行っていかねばと考えている。

(4) 年間活動報告書の提案

岡本委員から、年間報告書を札幌市に提出。

● 岡本委員

ぜひ検討をよろしくお願ひしたい。

○ 札幌市（平井課長）

委員の皆様にはこの 1 年間ご検討いただいたことにお礼申し上げたい。全部とはいかなくとも検討してまいりたい。今後ともご協力をお願ひしたい。

● 岡本委員

今後ともご尽力をお願ひしたい。

(5) まちづくりサポーターの活動報告

● 今田委員

サポーターの代表として、悩みつつ協議会に参加させていただいていた。サポーターへは協議会の報告をしてきたが、協議会でサポーターの話をしたことがなかったが、サポーターの活動報告書をまとめて、来月市長に提出するものの一部が今日の配布資料となっている。完成形ができた後、市のホームページにもアップロード予定で、必要な方は障がい福祉課でもらってほしい。ぜひ読んでください。

(6) 岡本委員退任について

● 岡本委員

配布している資料は後程時間のある時にご覧いただきたい。やり残したことも

書いた。白石区地域部会開催から学んできたことは、いい勉強になり、自分自身も成長できた。協議会の中心は地域部会だと思っている。協議会は実証実験の場。4月からは東京で勉強をしてくる。

## 2 協議事項

### (1) 会長・副会長の選任

#### ○ 事務局（山本係長）

会長・副会長の選任については、札幌市自立支援協議会設置要綱第4条に委員の互選によって、これを定めるとしている。要綱については、年間活動報告書の131ページ以降をご覧ください。それでは、会長または副会長に立候補される方はおられるか。

<立候補なし>

#### ○ 事務局（山本係長）

では、どなたか、会長または副会長への推薦はあるか。

#### ● 岡本委員

地域部会は、白石区と東区からスタートした。障がい当事者が会長か副会長に入ってもらえるべきなので、東区の小谷委員を会長か副会長に推薦したい。

#### ● 小谷委員

会長は荷が重いので、副会長であればお受けしたい。

<拍手により承認>

#### ○ 事務局（山本係長）

会長の推薦はないようなので、事務局から案として、候補者を推薦させて頂きたい。会長に永井委員はいかがか。全体の議事進行について、学識経験者として、中立公平に議論がおこなわれるよう、永井委員を推薦させて頂きたい。

#### ● 永井委員

恐縮ではあるが、協議会の意義を感じ、勉強させていただく意味で、よろしく  
お願いしたい。

<拍手により承認>

### 3 その他

#### ● 山本委員

発達障がいに関連して、今年度は就労、相談、子どもの3部会との研修開催をさ  
せていただいた。今年度到達できなかったところとして、来年度は地域部会との連  
携を密にさせていただきたい。